

業績ハイライト

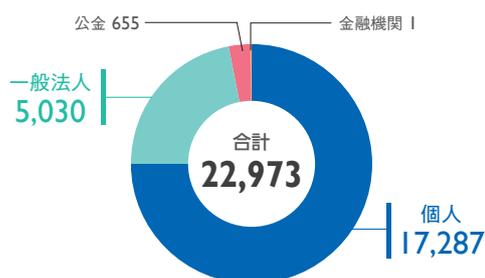
▶ 資産・負債の状況

預金積金

預金積金残高は普通預金などを中心に増加し、前期比230億円増加の2兆2,973億円(増加率1.01%)となりました。個人・法人のお客さまから広く預金積金をお預かりしています。

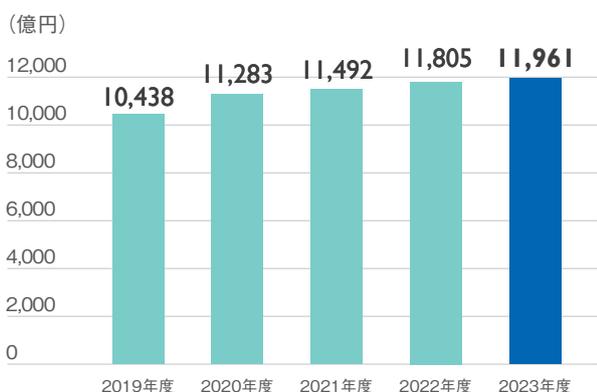


▶ 預金者別内訳 (2024年3月末、単位:億円)

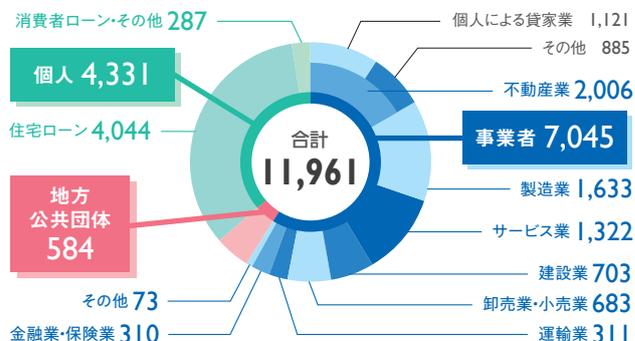


貸出金

貸出金残高は、住宅ローンなど個人向け貸出を中心に増加し、前期比156億円増加の1兆1,961億円(増加率1.32%)となりました。地域のさまざまな業種の皆さまの資金需要に積極的にお応えしています。



▶ 業種別貸出金残高 (2024年3月末、単位:億円)

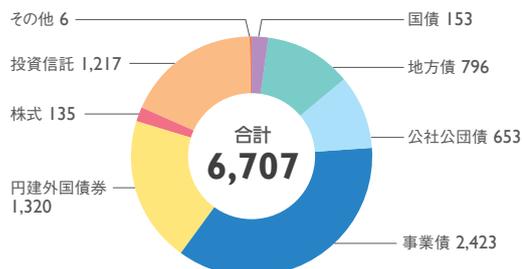


有価証券

国債、地方債、格付の高い社債や外国債券などの債券を中心に運用していますが、金利上昇に備え債券の購入を抑制したほか、国内外の金利上昇により評価損の発生した債券や投資信託の残高を削減した結果、有価証券の残高は、前期比485億円減少の6,707億円となりました。



▶ 有価証券の内訳 (2024年3月末、単位:億円)



▶ 損益の状況

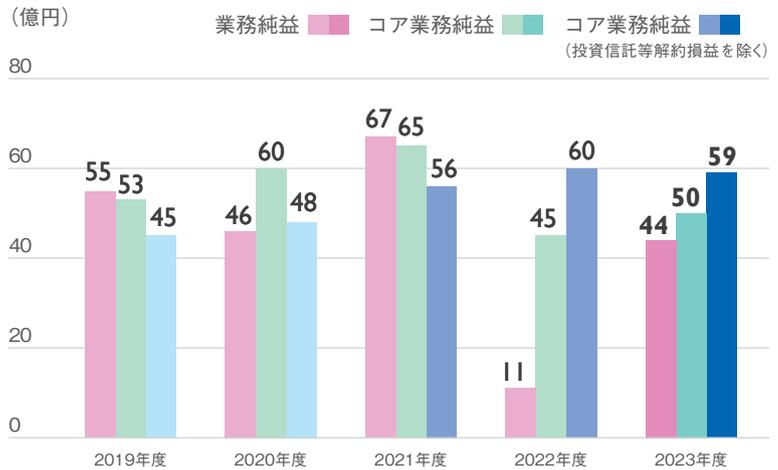
業務純益・コア業務純益

役員取引等利益の減少などにより、本業での収益力を表す指標であるコア業務純益（投資信託等解約損益を除く）は、前期比1億円減少の59億円となりました。

一方で、有価証券関係損益が大きく改善したことなどが影響し、業務純益は前期比33億円増加の44億円となりました。

参考

業務純益：融資など基本的業務に係る利益です。
コア業務純益：業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益）を除いたものです。



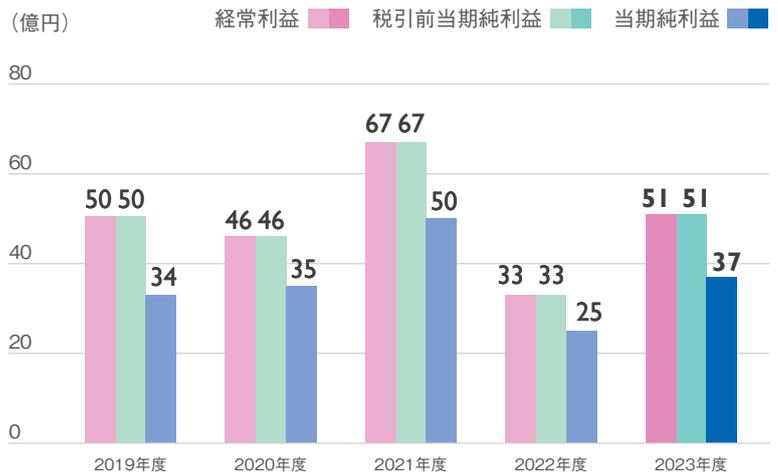
経常利益・当期純利益

業務純益の増加などにより、経常利益は前期比18億円増加の51億円、税引前当期純利益は前期比18億円増加の51億円、当期純利益は前期比11億円増加の37億円となりました。

最終利益である当期純利益の大部分が利益剰余金として積み立てられ、当金庫の自己資本の充実につながっています。

参考

経常利益：通常の営業活動からの利益です。経常的な収益力を見る上で重要な利益です。
当期純利益：経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税などを控除した利益です。最終利益ともいいます。



業績ハイライト

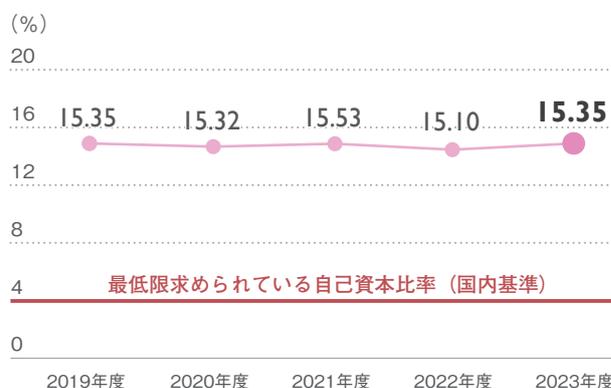
▶ 経営指標

自己資本比率

金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、利益計上による自己資本の増加により、前期比0.25ポイント上昇の15.35%となりました。

毎期の利益剰余金の積上げや資産良化への取り組みにより、信用金庫に求められる国内基準4%を大幅に上回っています。

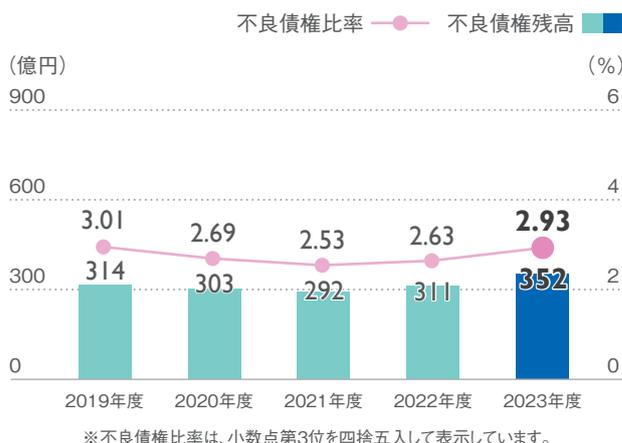
※自己資本比率=自己資本額÷リスクアセット



不良債権

「事業再生・経営支援活動」を主体に、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めましたが、金融再生法ベースの不良債権額は、前期比41億円増加の352億円、不良債権比率は前期比0.30ポイント上昇の2.93%となりました。

不良債権の90.7%が担保や保証、貸倒引当金でカバーされています。また、当金庫は潤沢な自己資本を備えており、不良債権が経営に与える影響は極めて小さいものとなっています。



純資産

過去からの利益の蓄積である利益剰余金は前期比36億円増加の1,872億円、純資産は前期比48億円増加の1,690億円となりました。



貸借対照表・損益計算書

第74期貸借対照表

(2024年3月31日現在)

科目	金額(百万円)
(資産の部)	
現金	14,558
預け金	569,638
買入金銭債権	9,085
金銭の信託	5,750
有価証券	670,792
国債	15,371
地方債	79,684
社債	307,685
株式	13,588
その他の証券	254,461
貸出金	1,196,170
割引手形	2,819
手形貸付	53,193
証書貸付	1,057,429
当座貸越	82,728
外国為替	627
外国他店預け	627
その他資産	19,046
未決済為替貸	1,107
信金中金出資金	11,236
前払費用	30
未収収益	2,020
金融派生商品	3
その他の資産	4,649
有形固定資産	22,266
建物	6,746
土地	13,943
建設仮勘定	485
その他の有形固定資産	1,091
無形固定資産	639
ソフトウェア	532
その他の無形固定資産	106
前払年金費用	5
繰延税金資産	8,326
債務保証見返	1,668
貸倒引当金	△2,381
(うち個別貸倒引当金)	(△1,404)
資産の部合計	2,516,194

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

第74期損益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

科目	金額(百万円)
経常収益	
資金運用収益	18,227
貸出金利息	10,692
預け金利息	1,170
有価証券利息配当金	6,122
その他の受入利息	242
役員取引等収益	3,533
受入為替手数料	849
その他の役員収益	2,683
その他業務収益	560
外国為替売買益	23
国債等債券売却益	315
その他の業務収益	221
その他経常収益	1,611
償却債権取立益	157
株式等売却益	1,377
金銭の信託運用益	58
その他の経常収益	18
経常費用	18,750
資金調達費用	371
預金利息	352
給付補填備金繰入額	14
借用金利息	4
その他の支払利息	0
役員取引等費用	1,982
支払為替手数料	104
その他の役員費用	1,878
その他業務費用	1,044
国債等債券売却損	1,042
その他の業務費用	2
経費	14,608
人件費	9,532
物件費	4,573
税金	502
その他経常費用	743
貸倒引当金繰入額	85
貸出金償却	104
株式等売却損	333
株式等償却	6
金銭の信託運用損	48
その他の経常費用	164
経常利益	5,182
特別損失	23
固定資産処分損	23
税引前当期純利益	5,158
法人税、住民税及び事業税	1,425
法人税等調整額	△2
法人税等合計	1,423
当期純利益	3,735
繰越金(当期首残高)	305
当期末処分剰余金	4,041

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

サステナビリティ

へきしんの経営状況

へきしんの概要

開かれた総代会を目指して

▶ 1 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人一人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。

信用金庫の会員は、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数がたいへん多く総会の開催が事実上不可能なため、会員の総意を適正に反映しつつ充実した審議を確保することを目的として、総会に代えて総代会を開催する制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任などの重要事項を決議する最高意思決定機関です。総代会は、総会と同様に、会員一人一人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、会員向けアンケートを実施するなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

▶ 2 総代の任期、定数及び選任方法

(1) 総代の任期、定数

総代の任期は3年です。

2009年4月以降新たに就任した総代の定年は満75歳です。ただし、任期の途中で定年に達したときは、その任期の終了をもって退任となります。

総代の定数は90人以上120人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。

(2) 総代の選任方法

総代は、次の3つの手続きを経て選任されます。

- 1 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- 2 総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- 3 総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

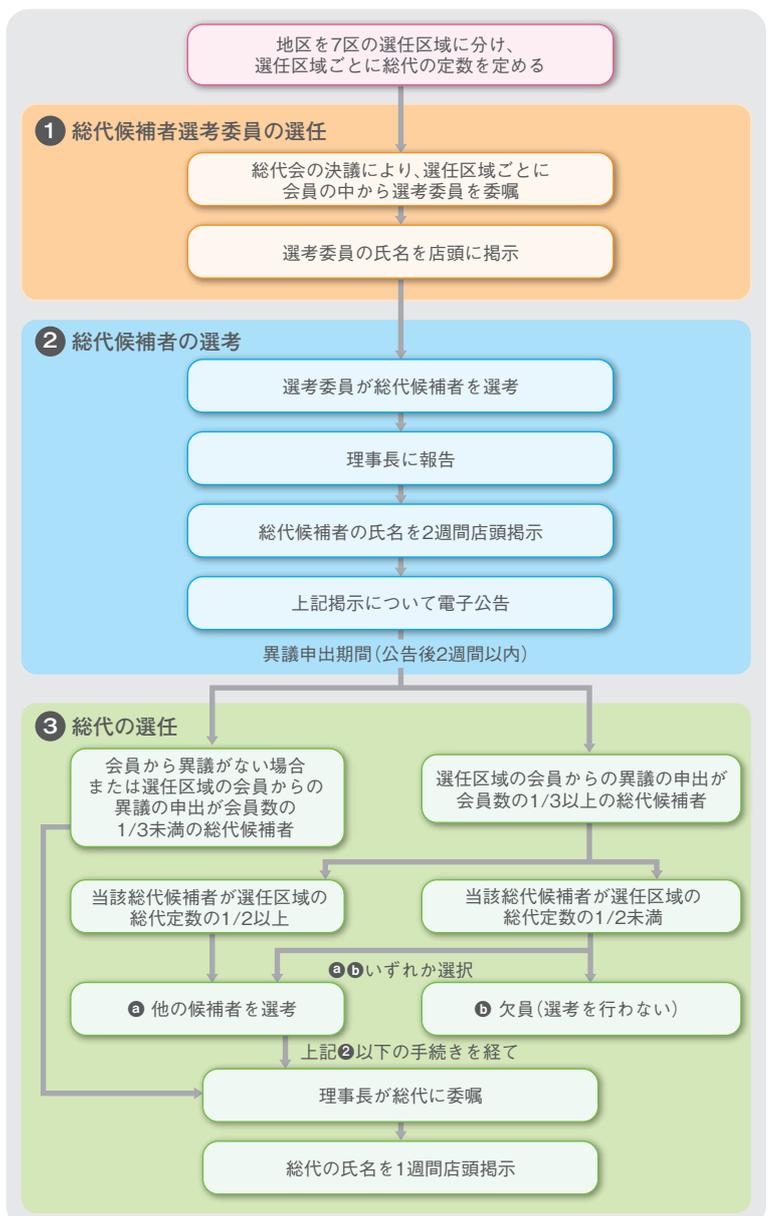
▶ 3 総代候補者選考基準

(1) 総代候補者は、当金庫の会員でなければならない。

(2) 総代候補者の選考基準は次のとおりとする。

- 総代としてふさわしい見識を有している者
- 良識をもって正しい判断ができる者
- 人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している者
- その他総代候補者選考委員が適格と認めた者

● 総代の選任方法（総代が選任されるまでの手続きについて）



▶ 4 第74期通常総代会の開催

2024年6月19日、総代120名（うち議決権行使書27名）にご出席いただき、本店3階大会議室において第74期通常総代会を開催しました。

総代会では、次の事項が付議され、それぞれ原案の通り承認可決されました。

●報告事項

第74期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

●決議事項

- 第1号議案 第74期剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 所在不明会員の除名の件
- 第4号議案 理事13名選任の件
- 第5号議案 監事4名選任の件
- 第6号議案 退任理事及び退任監事に対し退職慰労金贈呈の件



▶ 5 総代の氏名等

(五十音順、敬称略、氏名の後の数字は総代への就任回数)

選任区域	人数	氏名
第1区 安城市	19名	石原 勝成 ¹⁴ 大嶽 恭仁子 ³ 大見 満宏 ⁴ 加賀 雅人 ¹ 片桐 弘 ⁷ 加藤 登志雄 ⁸ 金子 豊久 ³ 神谷 英吾 ² 神谷 喜久雄 ⁶ 沓名 俊裕 ⁵ 鈴木 康文 ¹ 富田 清治 ⁴ 中島 守彦 ⁵ 成瀬 介宣 ⁸ 原 敏城 ² 久田 庸平 ³ 兵藤 義房 ² 三浦 哲 ⁸ 水野 誠 ⁵
第2区 刈谷市・知立市	16名	池田 裕幸 ³ 磯村 洋子 ⁴ 犬塚 太門 ² 太田 宗一郎 ⁸ 岡田 真幸 ³ 倉田 英行 ⁸ 近藤 純子 ⁷ 鈴木 文三郎 ⁴ 鈴木 康則 ² 田中 純 ⁵ 角岡 昭典 ⁶ 永田 千春 ⁸ 中村 智 ¹ 羽賀 威一郎 ¹ 宮田 和典 ³ 山本 裕嗣 ⁷
第3区 碧南市・高浜市 西尾市	14名	池田 晋治 ⁴ 石川 春久 ¹¹ 石橋 嘉彦 ⁶ 神谷 孝一 ⁸ 神谷 環光 ¹ 神谷 義昌 ⁶ 亀山 裕一 ⁷ 畔柳 博樹 ¹ 榊原 利夫 ⁸ 杉浦 豊紀 ⁵ 杉浦 弘 ³ 鈴木 雅基 ⁴ 鈴木 泰博 ¹ 名倉 隆司 ¹
第4区 岡崎市・額田郡 蒲郡市・豊川市 豊橋市	21名	浅岡 直人 ³ 伊藤 公正 ¹¹ 伊奈 良浩 ³ 宇野 功晃 ³ 太田 健介 ⁴ 小野 正富 ⁷ 片岡 啓二 ² 加藤 博巳 ⁴ 神谷 光典 ² 近藤 盛仁 ¹ 酒井 英二 ⁴ 杉浦 彰 ⁴ 鈴木 信高 ⁴ 中村 哲久 ⁶ 野田 篤文 ⁴ 牧 久 ² 松本 文久 ² 宮本 大介 ² 安田 朗子 ¹ 山崎 満 ¹⁰ 山本 雅樹 ⁷
第5区 豊田市・日進市 みよし市	14名	荒川 吉泰 ³ 江原 功一 ⁸ 岡田 哲士 ³ 小幡 銀伸 ¹³ 河上 貴夫 ³ 木下 富夫 ³ 甲村 武保 ¹⁴ 小島 裕二 ¹ 澤田 智行 ³ 鈴木 諭治 ¹ 高木 健 ⁴ 野田 清衛 ¹¹ 野場 基 ⁸ 渡邊 直人 ³
第6区 名古屋市・豊明市 愛知県・瀬戸市 尾張旭市・春日井市 長久手市・稲沢市 清須市・北名古屋市 あま市・西春日井郡 海部郡大治町	21名	天野 一人 ⁷ 伊丹 勝司 ⁴ 大河 哲男 ¹ 久納 英治 ⁶ 熊谷 勝一郎 ¹ 桑島 雄一郎 ¹ 近藤 匠 ¹ 酒井 重康 ⁹ 坂本 精志 ⁷ 嶋田 雅之 ¹ 杉浦 壽治 ¹ 田口 和宏 ¹ 坪内 孝暁 ³ 富田 英之 ³ 永川 裕士 ³ 中島 吉之 ¹ 中村 出 ⁴ 野々村 昌彦 ³ 丸山 創平 ² 毛受 進 ² 柳 均 ³
第7区 大府市・東海市 半田市・知多市 常滑市・知多郡	15名	相木 徹 ³ 今津 昭 ⁸ 岩部 雅人 ⁴ 神谷 紘正 ⁴ 近藤 晃尚 ⁵ 榊原 正章 ² 下谷 敏博 ⁴ 首藤 亮太 ² 富田 毅 ¹ 永田 英二 ⁵ 深谷 啓治 ⁷ 深谷 光俊 ⁸ 水野 貴之 ³ 森實 建介 ³ 山田 祐治 ²

(2024年6月19日現在)

●総代の属性別構成比

職業別	法人役員 100%（顧問、相談役等を含む）
年代別	80代以上 9.2%、70代 18.3%、60代 29.2%、50代 33.3%、40代以下 10.0%
業種別	製造業 58.3%、建設業 14.2%、卸・小売業 15.8%、各種サービス業 5.8%、不動産業 2.5%、運輸業 2.5%、その他0.8%

(2024年6月19日現在)